

# 気象

(The New Weather Book)

創造の不思議シリーズ

## 11 創造主、 天地創造と私たち

マイケル・オード著

翻訳：山部悦則、榎尊

## 目次

- 01 創造主による創造
- 02 地球の天候を生成するもの
- 03 大気中の水分
- 04 サンダーストーム（雷を伴う嵐）
- 05 危険なサンダーストーム
- 06 ハリケーン
- 07 冬の嵐
- 08 荒れた天気
- 09 過去の気候
- 10 気候変動
- 11 創造主、天地創造と私たち

※ 著作権の関係から、各図の掲載を省略させていただきます。

## 11 創造主、 天地創造と私たち

神は、創造主であります。（コロサイ人への手紙 1:16）

創造主は、主の素晴らしい天地創造の任に預かるよう私達を創られました。創世記 1:28 では、人間に対して、「生めよ、ふえよ。地に満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。」と、言っています。更には、「海の魚や空の鳥たちを治め、大地を動く全ての生き物を治めなさい。」（N I V）とも説いています。実際の所、私達にはその役目があり、全ての動物と植物を支配しているのです。

しかし、一部の人はこの節を誤って解釈し、この節が環境に害を与え、地球を破壊する権利を人間に与えていると主張しています。彼らは、多くの環境問題や将来の気候の変動可能性の事でキリスト教徒を批判しています。この一節は、我々が神の素晴らしい創造物を破壊する権利があることを意味している訳ではありません。

創世記に戻って詩編 2：15 を読んでください。「神である主は人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこ

を守らせた。」と、あります。私たち人間は、創造主の創造を担っていますが、その面倒を見る責任をもたされてもいるのです。

## 今日の小さな気候変動

地球の気候システムは、非常に複雑です。このシステム内の諸変数が、小さな気候の変化を引き起こします。大規模な火山噴火は、地球規模で空気が冷却されることを知っていますが、一般には、数年間に渡って約 1°F (0.6°C に相当) 冷えます。科学者はまだ確実な法則は掴んでいませんが、太陽黒点の数で計られる太陽の特性が、気候に影響を与える可能性があることも知っています。黒点の数が多い時は、通常より少し暖かくなります。一方、黒点の数が少ない時は、少しいつもより涼しくなります。もう一つの気候変動は、エルニーニョです。

## 私たちは創造主の創造における執事

従いまして、私たちは気候変動やオゾン層、大気汚染について心配すべきです。私たちは、自身で地球を汚染すべき

ではないし、また、環境問題を解決しようとしている人達をサポートすべきです。

しかし、私たちが物事を解決するには、その前に何が問題であるかという事について合理的に明確な考えを持たなければなりません。そのためには、事実を集める必要があります。気候変動を止めるために何億ドルものお金を使いたがっている人が多すぎます。私たちが問題の本質を理解する前に、彼らは私達に急いで行動するようにせきたててきました。

温室効果による温暖化に対する更なる研究で、確かに問題があることは分かっていますが、厄災を予言する人（悲観論者）が主張するほど問題は深刻ではありません。一方、オゾン層の減少はもっと深刻な問題で、もっと科学的なサポートが必要です。そこで、オゾンの損失を減少させるために多くの努力が注がれてきています。

## 見当違いの考え

環境を守るための行動を迫る一部の人達は、環境を懸念する以外に別な理由を持っている可能性があります。中には、私たちにもっとシンプルな生活をするよう促す人達もいます。一部の人達は、私たちは「自然に戻る必要がある」と主張します。彼らは、私達が自分のライフスタイルを劇的に変えるならば、この惑星の汚染を防ぐことができると言います。

しかしながら、人々が所謂シンプル・ライフを営んでいる非常に貧しい国々は、深刻な環境問題を抱えています。ブラジルに住むインディアンの「シンプル・ライフ」は、彼らに雨林の伐採と焼き畑を強いているのです。昔のソビエト連邦の社会主義の下に生きた国も深刻な環境問題を抱えています。ですから、「シンプル・ライフ」を生きる事が、必ずしもより良い環境をもたらす訳ではありません。実際、技術的に進歩した北米の環境は、世界で何処よりも綺麗な空気と水、町並みの一つを保っています。

汎神論者と呼ばれる一部の環境保護主義者は、動物や木々、環境と地球は神であると信じています。もし全てのものが神であるなら、一体何故、私たちは汚染や環境について心配しなければならないのでしょうか？ もし地球が創造主であるなら、地球は自らの面倒を自ら見る事ができる筈です。却って、汎神論者は反環境的のように思われます。

多くの環境保護主義者は、人間とは出世した動物であると言って私達を説得しようとします。私たちには、他の動物以上の地球に対する権利はないと彼らは信じています。

彼らの基本的な仮定は、進化論です。しかし、動物たちは自分たちの環境を心配しません。私たちは出世した動物であると言う信念で、一体どうやって環境問題を解決できるのでしょうか？ 彼らは、人類は創造主のイメージに似たように作られている事を理解していません。創造は創造主によって行

われました。従って、私たちは、創造主の創造を尊重してその面倒をみるべきなのです。

殆どの環境保護主義者は、心から環境に関心があります。一部の人達は、環境的な課題に関わるように導かれた献身的なキリスト教徒です。彼らの動機は、創造主の創造に対する愛であり、主の子供である人々や動物に対する関心です。キリスト教徒として、ノン・クリスチャンと協力して、道理に適った環境的課題を解決できるようになるべきです。

キリスト教徒は、最も深刻な汚染問題は罪であることを悟っています。環境汚染も含めて悪をなしているのは人間です。人々をイエス様の下に連れて行くことによって、人の心の中の悪に対処しない限り、より良い環境に向けての進歩の望みは殆どないでしょう。キリスト教徒は、これらの両方の汚染を無くすために挺身すべきです。

# 家で天気を確認する

## <風向計>

風の方向を示すために風向計が使用されます。これらは、庭や小屋、または、何かの家やその他の建物の装飾品としてもしばしば使われます。これらは、また、聖ペテロの話に関係づけて、9世紀の教会で人気がありました。風向計は、北と南、東と西を表す4つの方向片から成り立っています。このパーツは静止しており、一方で自由に動くポインターは風向を示すために回ります。

## <温度計>

温度計は、温度を計るために使用されます。気象関係のデータを集めるために幅広く使用されているその他の器具のように、温度の測定に当たっては世界中で共通の基準が採用されています。温度計には、二つの主要な要素がありますが、一つは温度センサーであり、もう一つの要素は温度を示す数値のスケール（目盛）です。温度計には水銀柱が使われますが、その理由は、水銀は室温では液体であり、温度が変化した時に認識することができる変化を示すからです。

## <雨量計と温度計>

雨量計は、所定の時間の間の降雨を集めて計測します。例を挙げると、ストームの前または後に天候を観察している時、気象学者は、どれ位の雨が降ると見込まれるか、24時間内の総雨量はどれほどか、或いは、当月の総雨量はどれほどかと言った形式で話します。降雨記録は、ギリシャや韓国、インドのような古代文化の時代、保管されていました。

## <気圧計>

気圧計は、大気の圧力を調べるために使われます。大気の圧力とは、地球の表面に働く大気中の空気の重さによる力のことです。長時間に渡る気圧の変化を測定する事によって、短期間の天気を予報することができます。例えば、短い時間で気圧が急速に上がった場合は、今後、空が一層晴れやかになる事と相関があります。